

登録コード	E0000900	開講年度	2026				
授業科目	コンピュータ利用教育A				担当教員	佐藤 和紀	
英文授業名	Literacy for Information Technology				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	
講義室	教育泉会館1号室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	「コンピュータ利用教育A」のシラバス案を作成しました。 英文名が「Literacy for Information Technology」となっていることから、大学での学習活動や将来の教職業務の基盤となる「情報リテラシー（操作スキル＋情報の扱い方）」の習得を主眼に置いた内容にしています。 【入力用シラバス原稿案】 授業の達成目標 1. 教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観 情報社会における法的責任やマナー、セキュリティの重要性を理解する。著作権や個人情報の保護を遵守し、将来の教育者として安全かつ適正にデジタル学習基盤を活用するための倫理観と公共的使命感を養う。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	PCやネットワークの基本操作、及び文書作成・表計算・プレゼンテーション・クラウドコンピューティング、小学校プログラミングの基礎・生成AIの利活用等の、学校教育における活用の知識技術を習得する。大学での学修や将来の教職業務において、情報を効率的に収集・整理・発信するための実践的スキルを身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学校教育におけるデジタル学習基盤について、その意義や我が国の今日的課題を理解し、教育活動に応用する力をつける。そのために、多くの学校現場で実際に活用されている学習環境（Google Workspace for Education, 生成AI）で学習活動を行っていく。						
(5)授業計画	第1回 ガイダンス、これからの学校教育におけるICT環境, Google Classroomの使い方（オンデマンド・学びセンター担当） 第2回 GIGAスクール構想で活用されているGoogle Workspace for Educationを理解し、その実践をWEBから収集・整理する 第3回 GIGAスクール構想で取り組まれている個別最適な学びと協働的な学びの実践を理解し、WEBから収集・整理する 第4回 GIGAスクール構想の実践をGoogle フォームを活用して自分でデータを収集する（データサイエンス含む） 第5回 GIGAスクール構想で必要な情報モラル, メディア・リテラシーを理解し、WEBから収集・整理する 第6回 GIGAスクール構想について学んだことをWEBサイトにまとめる（オンデマンド） 第7回 学校教育と生成AIの関わりを理解する1（オンデマンド） 第8回 学校教育と生成AIの関わりを理解する2（オンデマンド） 第9回 学校教育と生成AIの関わりを理解する3（オンデマンド） 第10回 学校教育と生成AIの関わりを理解する4（オンデマンド） 第11回 小学校プログラミングの意義の理解（データサイエンス含む） 第12回 小学校プログラミングの演習（オンデマンド）（データサイエンス含む） 第13回 教育データの利活用の意義の理解と演習（データサイエンス含む） 第14回 これからの学校教育とICTの関わり、これからの教師に求められる資質・能力について議論する 注）【遠隔等】は遠隔授業を指します。						
(6)成績評価の方法	・以下を総合して判定する。課題(50%)、演習への参加および提出物（50%） ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ※課題、実習への参加は、コンピュータ利用教育に関する基礎的な知識を得て、教育活動に応用する力を評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】コンピュータ利用教育, GIGAスクール構想に関する基礎的な知識を得て、教育活動に応用する力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】コンピュータ利用教育, GIGAスクール構想に関する基礎的な知識を得て、教育活動に応用する力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】コンピュータ利用教育, GIGAスクール構想に関する基礎的な知識を得て、教育活動に応用する力を総合して、高い水準にある。						

(7)成績評価の基準	【その水準にある】コンピュータ利用教育，GIGAスクール構想に関する基礎的な知識を得て、教育活動に応用する力を総合して、一定水準にある。
(8)事前事後学習の内容	・事前事後学習のために，e-Learningシステム（Google Classroom）を活用して授業を展開していく。 ・授業内容に関連する語句について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ・授業内容に関連する内容について、事前に書籍やネットなどで事前に理解を深め、自分の意見を整理しておく。
(9)履修上の注意	・学校教育教員養成課程現代教育コース、心理支援教育コースの学生に限る。 ・各回の授業の前後にGoogle ClassroomやGoogle Chatにアクセスして事前事後学習に努めること。 ・各回の授業後にGoogle ClassroomやGoogle Chatで意見交換をすること。 ・オンデマンド，オンラインによる自学自習が5回ある。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	・附属次世代型学び研究開発センター2F 佐藤研究室 E-mail：sato_kazunori@shinshu-u.ac.jp - オフィスアワー：（前期）メール予約で随時対応 （後期）メール予約で随時対応
【教科書】	教科書作成中，授業開始後に案内します。
【参考文献】	